

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200422		
法人名	聖北会 有限会社 敬七商事		
事業所名	グループホーム すずらんの里	ユニット名	1丁目うぐいす
所在地	〒319-0204 茨城県笠間市土師1283-252		
自己評価作成日	平成21年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月4日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年12月4日	評価確定日	平成22年5月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

恵まれた自然環境の中で、それぞれがのびのびと過ごされています

「寝たきりにしない。いつまでもトイレでの排泄を支援していく。仕方がないはいや。」との共通認識の中で、職員は利用者と寄り添いコミュニケーションを図りながら日々支援に努めている。食事は各ユニット毎に作り、利用者と職員はできたてを一緒に楽しく食べている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関や各ユニットに掲示されていて見られるようになっており毎月の会議にも取り上げられることがある	「家族と地域の絆を大切に安心して生活できるよう支援する」を理念に掲げ、管理者と職員は会議などで共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々と駐車場や玄関等でお茶を飲んだり会話できるようになっている	食材は地元の米屋や商店から購入している。 地域の婦人会の方を傾聴ボランティアとして受け入れている。 駐車場や玄関先で地域の人々とお茶を飲む機会はあるが、地域活動に積極的に参加するまでには至っていない。	地域との交流を深めるためにも地域の清掃活動や行事などへの参加を期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	少しずつですが地域の方々に認知症の施設であることが広まっています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	代表者が行っていて情報交換されています	運営推進会議は利用者や家族等、管理者、職員、地域住民の代表で、ほぼ2ヶ月に1回事業所や地元の飲食店、ぶどう園などで開催しているが地域住民の参加が少ない。 会議では事業所の現状を報告したり、地域の人々に認知症を理解してもらえるよう取り組んでいる。	運営推進会議に自治会や老人会の役員、民生委員などより多くの地域住民の参加が得られるよう働きかけを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	代表者が時々訪問して情報交換しています	管理者は利用者の生活状況や体調などを市担当者に相談し共に解決方法を模索するほか、運営推進会議の委員の選出や開催場所などのアドバイスを受けている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の勉強会や毎朝の申し送りなどで取りあがられているため行っていません	職員は身体拘束による利用者への身体的、精神的な苦痛を理解するとともに、身体拘束ゼロへの手引きや職務の中で学習をしながら、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の勉強会や毎朝の申し送りなどを利用して周知されています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、勉強会で取り上げられたことがあり意見交換したことがあります		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に時間をかけて納得してもらえていると思います		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などに希望、要望等を伺うようにしています	家族等の面会時に話し合える環境をつくっているが、利用者や家族等からの意見や要望、苦情を記録するまでには至っていない。 玄関に第三者委員の苦情相談受付窓口を掲示しているが、重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するまでには至っていない。	利用者や家族等から出た意見や要望、苦情を記録するとともに、全職員で共有することを期待する。 重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記することが望まれる。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の勉強会や申し送りなどで意見交換しています	管理者は職員が意見を出し易いように努めるとともに、ユニットの職員会議で出た意見等を管理者会議で検討し、勤務体制の改善を図ったり職員交流会を実施するなど、働きやすい職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	主に代表者が講習会や資格取得などの案内などを掲示したり、参加を促しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	福祉関係の資格取得の研修やスキルアップなどの講習会などに参加を促しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今のところ、行っていません		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	聞きやすい雰囲気の中で十分に時間をかけて取り組んでいます		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時などに、十分に時間をかけて希望、要望等を伺うようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	既往症と現在の症状の把握し、家族や協力病院などと相談しながら取り組んでいます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	対等な立場で取り組んでいます		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の意向を伺いながら、希望に副えるように取り組むようにしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会を受け入れていません	利用者が住んでいた家の近所の方や職場の後輩の訪問があり、職員はお茶を出すなどの支援をしている。 利用者が行きつけの理美容室に出かけたり、家族等と墓参りに行くなど、職員は利用者が馴染みの場所に出かけられるよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者の中に入り関わりを持てるようにしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今のところ、取り組んでいませんが相談や支援したいと思います		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各職員が、入居者の希望に副えるように取り組んでいます	職員は利用者に寄り添い話を聴き、希望や意向の把握に努めている。 利用者の行動を見守りながら何かをしようとしている時には付き添いながら支援をしている。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や知人などの面会などの機会を利用して利用までの経過を伺うようにしています	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りなどの時を利用して変化を把握できるようにしています				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の希望や、症状になるべく対応できるようにしたいと思います	介護計画は利用者や家族等の希望を聴き、職員の意見をもとに看護師からアドバイスを受け作成している。 モニタリング表は作成しているが、介護計画を定期的に見直したり、心身の状態に変化が生じた場合に現状に即した介護計画に見直すまでには至っていない。	介護計画は定期的に見直すほか、心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直すことを期待する。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各職員が、変化に気付いたときは記録して計画の見直しにつなげています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護のみにとらわれず、代表者の指示を受けながら取り組んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今のところ、十分に生かしていないと思います		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主に協力病院と連携して取り組んでいます	利用者は家族等の協力を得て希望するかかりつけ医を受診している。家族等から受診結果の報告があり、職員は適切な対応をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問の看護師と連携して取り組んでいます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	主に協力病院と情報交換をしながら取り組んでいます		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	代表者が、契約時に打ち合わせを行い、家族や協力病院と情報交換を行いながら、取り組んでいます	<p>重度化した場合や終末期に向けた対応を契約時に利用者や家族等に説明し同意を得ている。</p> <p>管理者と職員は看取り介護について話し合っている。</p> <p>管理者は家族等と電話で連絡を取りながら重度化した利用者を支援した経験があるが、その際の家族等との連絡の記録が保管されていない。</p>	利用者が重度化した場合は段階に合わせて利用者や家族等の意向を確認するとともに、更新のための同意書や意思確認書を作成することが望まれる。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	勉強会などで初期の対応ができるようにしています		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	連絡網を利用して、対応できるようにしています、また地域の消防団などと体制を築いています	<p>年2回消防署立会いのもと避難訓練を実施するとともに避難経路を確認している。</p> <p>実施後職員で課題を話し合い記録しているが、マニュアルを作成するまでには至っていない。</p> <p>消防団と協力体制を整えているが、避難訓練に地域住民の参加を得るまでには至っていない</p> <p>災害時に備え食糧や飲料水、備品等を備蓄するまでには至っていない。</p>	<p>防災マニュアルを作成するとともに、災害時に地域住民の協力が得られるよう、運営推進会議などを活用して避難訓練への参加を働きかけることを期待する。</p> <p>災害に備えて食糧や飲料水などを備蓄することを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	子供扱いせず、ひとりの人として接しています	職員は利用者の人格を尊重した対応に努めるとともに、不適切な言葉遣いは研修等で改善をしている。 個人の書類は事務所の決まった場所に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時間をかけて希望を伺うようにしています	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間をかけて希望に副えるようにしたいと思います			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に副えるように支援したいと思います	/		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人の身体状況に応じて対応したいと思います	食事は職員が利用者の希望を聴き、ユニット毎に献立を作成している。 オープンキッチンになっており、利用者は食事作りの様子を見ながらご飯の炊ける匂いを感じることができる。 職員は利用者と一緒に食事をし、食が進まない利用者にデザートを先に勧めるなど、食を促しながら支援している。 能力に応じてできる利用者は、食べ終わった食器をカウンターまで下げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医療機関や家族などと情報交換をしながら、身体状況に応じて水分摂取表を活用しながら対応しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	今のところ、就寝前に取り組んでいます		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	申し送りや排泄表を利用しながら、より良い排泄ができるようにしたいと思います	職員は排泄チェック表を活用しながら、日中は利用者がトイレで排泄ができるよう支援している。 リハビリパンツの使用者はいるが、おむつの使用者はいない。 緑内障の利用者がトイレで自立して排泄ができるよう、トイレの入り口に赤い布、トイレ内の手すりに黄色い布を結び目印になるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取表を活用して、水分が十分にとれるようにしています、野菜を多く取れるように献立にも工夫されています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	なるべく本人の希望に副えるような対応をしたいと思います	職員は入浴表を記録するとともに、利用者の希望にそって毎日入浴ができるよう支援している。 利用者の体調に合わせて機械浴を利用することができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の生活リズムを大切にしながら支援したいと思います		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	勉強会や、内服薬が変更になったときなどに説明されています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	そのひとの生活歴を参考にしながら、楽しみを支援したいと思います		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今のところ、月に1回程度ユニットで外出しています、	利用者は日常的に事業所付近を散歩するほか、近くのスーパーに買い物に出かけるとともに、月1回地元の和食のお店やファミリーレストランなどで外食を楽しんでいる。 職員はユニット毎に利用者の希望を聴いて苺狩りやぶどう園などに出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今のところ、入居者からお金の所持に関して強い希望がないため、預かっていますが、申し出があれば対応したいと思います		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	今のところ、家族などと交流を促していますが、更に取り組みを図りたいと思います		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不必要な物は取り除いて、心地よく過ごせる配慮されている	居間兼食堂に畳のスペースや大型テレビが設置されている。 職員は障子で光を調整し、居間兼食堂が利用者にとって居心地の良い場所になるよう配慮している。 廊下やトイレは広く車椅子で対応できる設計になっている。 クリスマスツリーやサンタ人形を置くなど、職員は季節が感じられるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりが好みの品を持ち込めるようにして、過ごしやすように配慮されている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの品物を身近なスペースに用意して過ごしやすようにされている	利用者の体調や希望にそってベッドや布団が使用できるよう支援している。 利用者は居室にテレビやラジオカセットを置いたり、昔使用した鏡台の鏡を取り除いて置いている。 カーテンはユニット毎に色分けをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家族や福祉、医療従事者などと情報交換しながら過ごせるようにされている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p><input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム すずらんの里
作成日 平成22年6月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画が定期的に見直されていなく、入居者の現状にそった物ではなかった。	介護計画の定期的の見直しにサービス担当者会議の意見の取り入れと入居者の現状に合わせての介護計画の見直し	介護計画に反映させる為に本人、スタッフの意見の取入れと家族との意見の交換、主治医との連携を取り、適切に計画するよう研修をと徹底させる。	2ヶ月
2	5	今迄の運営推進会議に民生委員などの参加が無く、適切に行われていなかった。	運営推進会議に高齢福祉課より職員参加、民生委員の協力して頂き適切に開催したい。	避難訓練の家族、民生委員の参加。もしものときの協力のお願いと避難訓練での気がついた事との意見の交換をしました。	6ヶ月
3	33	入居者が重度化した場合に家族と連絡をとり対応を話合ってきたが文書に残すことが少なかった。	重度化、終末期において本人の意向をふまえた上で、家族、主治医と十分に話しあい文書化しチームケアをする	チームでの状態変化の把握をして変化に対し早い対応と家族への連絡をとおして今後の介護における方向性を話し合い必要に応じて介護計画を見直しをする	6ヶ月
4	10	意見、要望などを聞いていたが記録がなく後になると、あいまいになってしまう。	運営推進会議に家族の参加を呼びかけ意見を聞いていくなどをした	定期的に運営推進会議の開催を努力してその時にいろいろな意見を出して頂き話し合い運営にいかしたい。重要事項説明書に市役所の連絡先を記載した。	6ヶ月
5	5	災害にたいする具体的なマニュアルがない。	避難訓練の時の具体的なマニュアルをつくり避難誘導にいかしたい。	避難訓練の地域住民に協力のよびかけと具体的なマニュアルによるスムーズな避難がでるようにしたい。	3ヶ月
6	2	地域にグループホームが溶け込み日常的な交流が行われていない。	日常的に地域の人と関われるように地域の行事に参加できる様に努力したい。	避難訓練などの地域住民の参加の呼びかけ、夏祭りの参加の呼びかけなどを行っています。	12か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。